

平成 2 7 年度

9 月補正予算案参考資料

茨 城 県

目 次

- 1 (拡) 地域密着型老人福祉施設整備推進事業
老人福祉施設開設準備経費助成事業 (保健福祉部)
- 2 (新) 回復期病床整備促進事業 (保健福祉部)
- 3 (拡) 安心こども支援事業 (保健福祉部)
- 4 (新) 睡眠医療体制整備事業 (病院事業会計) (病院局)
- 5 (新) G7茨城・つくば科学技術大臣会合開催・準備事業 (直轄)
- 6 (新) つくば明野北部(田宿地区)土地造成事業(地域振興事業会計) (企業局)
- 7 (新) 農林水産物地域ブランド力向上緊急支援事業 (農林水産部)

地域密着型老人福祉施設整備推進事業，老人福祉施設開設準備経費助成事業

予算額 805,610千円

保健福祉部長寿福祉課
施設指導G(内線 3325)

地域医療介護総合確保基金を活用し，高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう，小規模特別養護老人ホーム等の整備及び施設開設準備に係る経費に対し支援します。

事業内容

1 地域密着型老人福祉施設整備推進事業 (467,996千円)

(1) 小規模特別養護老人ホーム等の整備に対する補助

補助単価：4,120千円/床

施設数：4施設

(2) 既存の特別養護老人ホームの改修に対する補助

補助単価：700千円/床(多床室のプライバシー保護改修)

施設数：6施設

補助単価：2,190千円/床(ユニット化改修)

施設数：1施設 *ユニット：10人程度の単位でリビング等の共用スペースを併設した個室

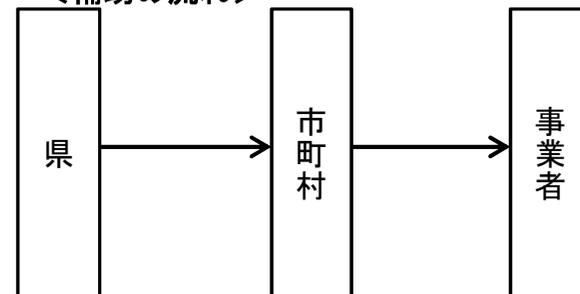
2 老人福祉施設開設準備経費助成事業 (337,614千円)

施設開設前6か月間の職員雇用経費等に対する補助

補助単価：618千円/定員

施設数：13施設

<補助の流れ>



回復期病床整備促進事業

予算額 199,372千円

保健福祉部厚生総務課
医事・情報G(内線3124)

地域医療介護総合確保基金を活用し、効率的かつ質の高い医療提供体制の構築に向け、急性期病床等から回復期病床への転換を支援することで、将来不足すると推計される回復期病床の充実を図ります。

事業概要

- 1 目的
在宅復帰の支援やリハビリを行う回復期病床の整備促進
- 2 補助対象
医療機関が行う回復期病床の増に係る新築・増築・改修経費
- 3 整備数
120床
- 4 補助額
3,214千円/床×1/2

茨城県の現状

- 2014年度病床機能報告制度の集計結果

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答
16.7%	50.5%	6.3%	23.9%	2.6%

※病院のみ

- 2025年の回復期病床の必要割合: **約33%**
※推計値

回復期病床の充実が急務の課題



地域にふさわしい
医療提供体制の
構築



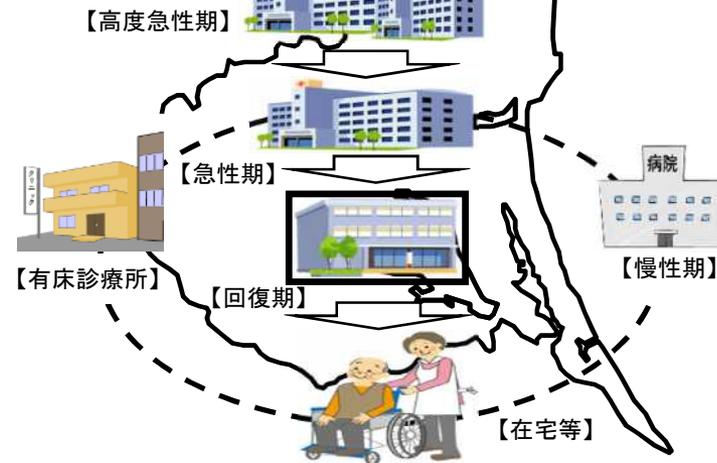
回復期病床への転換の促進

- 現状でも不足している回復期病床への転換を推進するための施設・設備整備を支援



- 医療機能の分化・連携により、医療提供体制の充実を図る

<イメージ>





安心子ども支援事業

予算額 357,589千円

保健福祉部子ども家庭課
保育・母子福祉G(内線3250)

待機児童の解消と保育サービスの充実のため、保育所整備等を推進するとともに、質の高い幼児期の学校教育・保育を提供する認定こども園への移行を支援することで、安心して子どもを育てることができる環境づくりを促進します。

事業内容

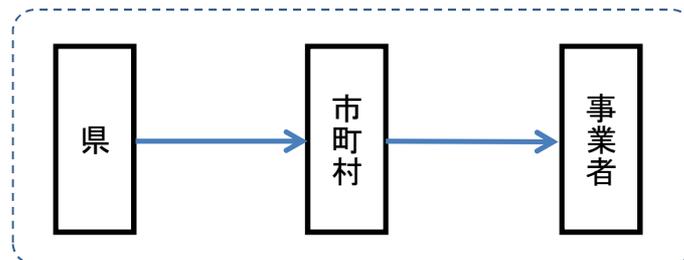
1 保育所緊急整備事業 (336,568千円)

- 保育所及び幼保連携型認定こども園の保育所部分の整備に対する補助
- 主な補助率
(健やかこども基金1/2), 市町村1/4, 事業者1/4
- 施設数 創設 3施設

2 認定こども園整備事業 (21,021千円)

- 認定こども園の幼稚園部分の整備に対する補助
- 補助率
(健やかこども基金1/2), 市町村1/4, 事業者1/4
- 施設数 創設 1施設

<補助の流れ>



- 保育所等の整備の推進
- 質の高い幼児期の学校教育・保育を提供する認定こども園への移行促進

- 待機児童の解消
- 子どもを安心して育てることができる環境の実現



睡眠医療体制整備事業（病院事業会計）

病院局経営管理課
企画室（内線 6515）

予算額 48,343千円

水戸市内に「こころの医療センター附属診療所（仮称）」を設置し、睡眠時無呼吸症候群の検査・治療体制の更なる充実と受診者の利便性向上を図ります。

事業の必要性

- ・睡眠時無呼吸症候群は、脳卒中や心筋梗塞など生活習慣病の原因・増悪因子となるが、見落とされることも多い疾患。
- ・県では、平成27年4月にこころの医療センターに「茨城県睡眠医療センター」を設置し、筑波大学と共同で睡眠医学の臨床研究や県民への啓発活動、各医療機関が連携した睡眠医療ネットワークの構築に取り組んでいる。
- ・睡眠医療の更なる充実や県民の健康向上を図るためには、県による先導的かつ率先した検査・治療体制の整備が必要。

診療所の概要

- ・設置場所：水戸市内（トモスミとビル医療モール（予定））
- ・診療機能：睡眠時無呼吸症候群の検査及び治療等

スケジュール

- ・平成27年度：内装工事、運営体制整備
- ・平成28年度：開設目標

睡眠時無呼吸症候群（Sleep Apnea Syndrome）は、眠っている間に呼吸が止まる病気。頭文字をとって、「SAS（サス）」とも言われる。



G7茨城・つくば科学技術大臣会合開催・準備事業

予算額 46,012千円

知事直轄国際課

交流・協力G(内線2860)

G7茨城・つくば科学技術大臣会合の開催成功に向けて計画的に準備を進めるとともに、会合参加者等へのおもてなし、世界最大級のサイエンスシティであるつくばの科学技術のPR等を通じて、茨城・つくばの魅力を世界に向けて発信します。

【事業概要】

大臣会合の開催、準備に係る経費を予算計上

平成27年度

大臣会合の開催準備に係る取組の実施

○体制整備

- ・ 県、つくば市、研究機関、民間企業等で構成される推進協議会を設立

○開催広報・機運醸成

○大使等視察対応

- ・ 大使等の事前視察に対応した案内、地元主催レセプションの開催

平成28年度

大臣会合の開催に併せて行う取組の実施

○地元主催レセプションの開催

- ・ 県産食材をふんだんに使ったプレミアム料理の提供
- ・ 本県の名産品等を活用したおもてなし

○科学技術等発信に係るフォーラム・展示会等の実施

- ・ ノーベル賞受賞者による講演・パネルディスカッション
- ・ ロボット等国内最新技術やものづくり産業の製品等の展示会
- ・ 政府関係者や海外プレス等向け科学技術関連施設等視察ツアー

【G7茨城・つくば科学技術大臣会合開催概要】

日 程：平成28年5月15日（日）～17日（火）【3日間】

場 所：つくば国際会議場

参加国：[主要国（7か国・1地域）]

日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、

イタリア、カナダ、EU

[アウトリーチ国]

議題に関連して参加するG7以外の関係国(5か国程度)

※高級実務者会合（局長級）も開催予定（詳細は内閣府で調整中）。



【平成20（2008）年 G8洞爺湖サミットにおける大臣会合の様子】

つくば明野北部（田宿地区）土地造成事業（地域振興事業会計）

企業局企画経営室
(内線4937)

予算額 2,436,000千円

企業の進出ニーズを踏まえて早期分譲を図るため、新たな工業団地の整備を実施し、雇用の創出と地域経済の活性化を図ります。

【事業概要】

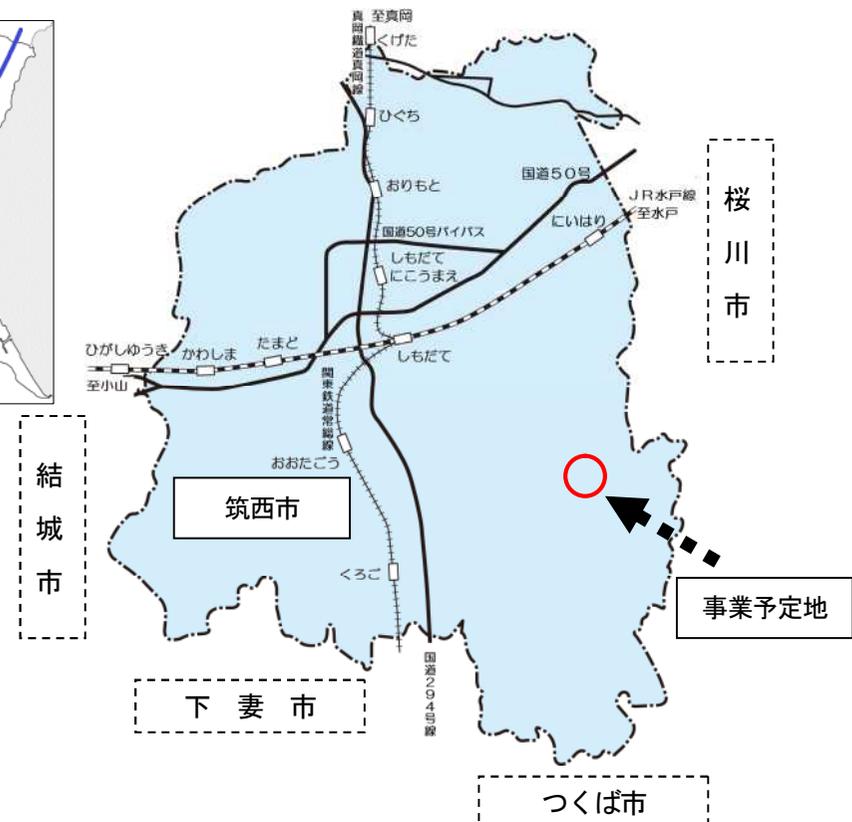
名称：つくば明野北部（田宿地区）土地造成事業
面積：31.1ha
期間：平成27年度～29年度
総事業費：5,820百万円

【事業スケジュール】

平成27年度：用地取得，測量，地質調査，
基本設計，実施設計
平成28年度：造成工事
平成29年度：造成工事

【主要道までのアクセス】

- ・圏央道 常総IC（予定）まで 35分
- ・北関東道 桜川筑西ICまで 25分
- ・国道50号まで 20分
- ・国道294号まで 10分



農林水産物地域ブランド力向上緊急支援事業

予算額 51,739千円

農林水産部産地振興課	野菜対策G (内線 3914)
	果樹花き・特産G (内線 3952)
販売流通課	アグリビジネス推進室 (内線 3892)
畜産課	生産振興G (内線 3991)
漁政課	企画調整G (内線 4069)

地方創生先行型の交付金を活用して、マーケットインの視点により農林水産物の品質や付加価値を高め、他産地には真似できない「強み」を確立し、産地における新商品（青果物及び加工品）開発等を支援するとともに、地域ブランドづくりを促進します。

